

2025年01月30日

報道関係者各位

テクマトリックス株式会社
(東証プライム / 証券コード: 3762)

非 Developer 向けのセキュリティ教育をサポート セキュアコーディング学習プラットフォーム「Secure Code Warrior」

～脅威モデリングやセキュリティ要件、大規模言語モデル (LLM) のテンプレート多数搭載～

テクマトリックス株式会社 (本社: 東京都港区、代表取締役社長: 矢井 隆晴、以下「テクマトリックス」) は、豪州 Secure Code Warrior Pty Ltd (本社: 豪州ニューサウスウェールズ州、最高経営責任者: Pieter Danhieux、以下「Secure Code Warrior 社」) が提供するセキュアコーディング学習プラットフォーム「Secure Code Warrior」について、セキュリティ標準規格と法規に関連する学習、脅威モデリング、セキュリティ要件や大規模言語モデル (LLM) などへの対応が開始されたことを発表いたします。テクマトリックスは、国内総販売代理店として、ソフトウェア開発に携わるお客様を対象に、本製品の日本国内での販売、マーケティング、ユーザーサポートなどの活動を展開してまいります。

世界中で猛威を振るっているサイバー攻撃は、日本企業にも多くの被害をもたらしています。サイバー攻撃は、事業継続に影響を及ぼすだけでなく、企業価値を低下させる要因にもなるため、各企業は、さまざまなセキュリティ対策を施し、防衛に注力しています。そのような状況において、ソフトウェアを提供する IT 業界では、攻撃の端緒となるセキュリティ脆弱性をソースコードからできる限り排除するための、セキュアコーディングに注目があつまっています。ソフトウェアのセキュリティ確保に対する期待と難易度は日々高まっており、セキュアコーディングスキルの底上げとセキュリティ意識の維持向上は、ソフトウェア開発現場に求められる最重要課題になっていると言っても過言ではありません。ソフトウェア開発者のセキュアコーディングスキルの習得とアップデートを高レベルでサポートする、Secure Code Warrior は、IT、金融、自動車や医療機器を含めた製造業、政府機関といった高いセキュリティを求められる業界の企業や組織に採用され、全世界で 600 以上の企業で利用されており、安全性の高いソフトウェアの開発に貢献しています。

企業は、安全性を確保するための標準規格や法規を遵守してソフトウェアの開発を行うことを求められています。セキュリティに関連した標準規格には、情報管理システムのセキュリティ強化の基準を示す ISMS 国際規格 ISO27001 をはじめ、自動車業界向けのサイバーセキュリティ規格である UN-R155/UN-R156 と ISO21434、産業用制御機器などを対象とした規格の IEC62443、金融業界においては、クレジットカードのセキュリティ基準 PCI DSS などがあります。また、各国で独自に制定されている法規には、デジタル製品と関連サービスのセキュリティ基準を強化する EU の法案 EU Cyber Resilience Act、米国政府が国家のサイバーセキュリティを改善するために発令したアメリカ大統領令 EO14028 などがあり、サイバー攻撃からの防御、産業の信頼性の確保、国家の安全保障などを目的としています。

近年、ソフトウェア業界では、製品の企画や設計のフェーズからセキュリティを考慮し、セキュリティを効果的に組み込むことを目指すアプローチであるセキュリティ・バイ・デザインが注目されています。セキュリティを設計段階で組み込むことで、早期にセキュリティの問題を特定して修正を行うことができるため、セキュリティのリスクやコストの削減につながります。

Secure Code Warrior では従来から、コーディング担当者向けにセキュアコーディングを支援するために多数の脆弱性を学習するコンテンツを提供してきました。一方で今回のバージョンアップでは、脅威モデリングやセキュリティ要件など、コーディング以外の役割の方が気にすべき学習コンテンツが追加されました。

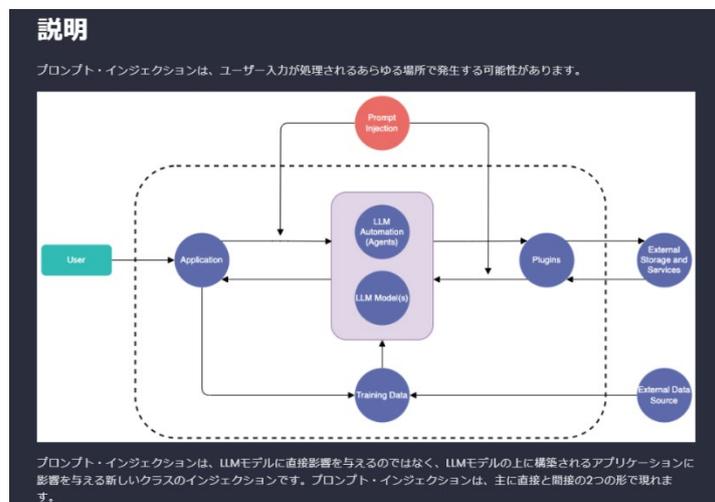
セキュリティは常に状態が変化していくため最新の情報で学習することが重要であり、継続的な学習が必要です。オンライン学習プラットフォームである Secure Code Warrior は、コンテンツの追加や更新が定期的に行われているため、最新の状態の学習コンテンツでセキュリティ教育を学ぶことが可能です。



図：脅威モデリング 学習コンテンツの一部

Secure Code Warrior は、アプリケーション開発で使用するケースが増えている大規模言語モデル (LLM) の対応を開始しました。大規模言語モデル (LLM) を活用する際には、開発を効率化する一方で、セキュリティリスクを正しく理解し、開発を進めることが重要です。Secure Code Warrior では、実践型コーディング演習のミッション・ウォークスルーという機能で、実際の大規模言語モデル (LLM) バックエンドを活用し、あらかじめ用意されたシナリオでコードを生成するように指示を行い、脆弱性がどのように現れるか、アプリケーションの挙動で確認することができます。自身で脆弱性を含むアプリケーションを攻撃することで、脆弱性が含まれた実装やその悪用された場合の影響を学べます。

Secure Code Warrior では、大規模言語モデル (LLM) の他にも CERT C/C++や、OWASP Top 10、Secure Code Warrior 社推奨など、多くの学習コーステンプレートが用意されており、目的に合わせてカスタマイズできます。加えて、ゲーム感覚でセキュアコーディングスキルを競い合うトーナメントという機能が備わっており、セキュリティを意識するだけでなく、組織全体でセキュリティがあたりまえといったセキュアコーディングに対する意識や学習意欲の向上を促します。



図：大規模言語モデル (LLM) ガイドライン画面

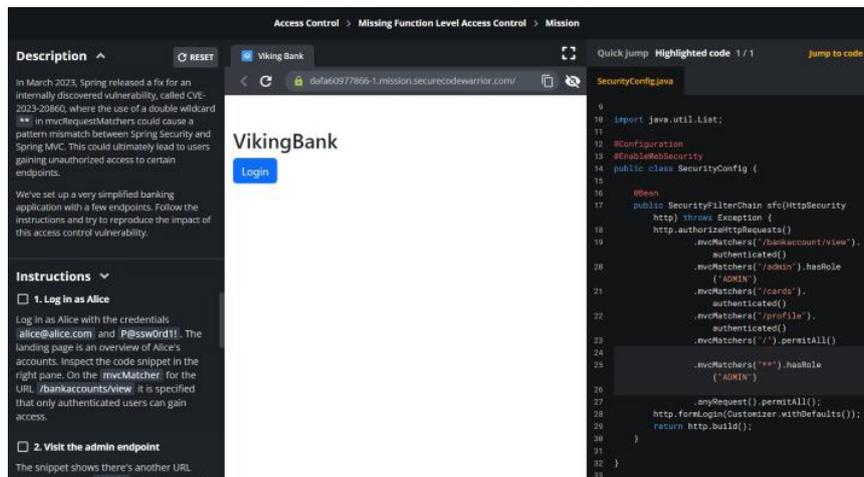
【Secure Code Warrior ライセンスプラン】

- ・ **Secure Code Warrior ビジネスプラン**
 - ・ 提供形態：クラウドサービス (SaaS)
 - ・ 契約形態：サブスクリプション契約
 - ・ 契約期間：1 年間

詳細は Web サイト：<https://www.techmatrix.co.jp/product/scw/> をご参照ください。

【Secure Code Warrior デモサイト】

Secure Code Warrior デモサイトは、実際の Secure Code Warrior ラーニング プラットフォーム上で、脆弱性を含むアプリケーションに対し攻撃をしてアプリケーションの挙動を確認する、ステップ バイ ステップで課題を解決するといった形でセキュアコーディング学習を無料でお試しいただけます。この無料のデモサイトでは、個人情報を登録することなく、すぐに Secure Code Warrior の基本機能をお試しいただけます。



図： Secure Code Warrior Information デモサイトページ画面

- ・ 学べる脆弱性の課題一覧
 - ・ Cross-site scripting (XSS) - 悪意のあるスクリプトを他ユーザーの Web ブラウザーで実行
 - ・ Spring MvcRequestMatchers - 二重ワイルドカード ** の不適切な使用
 - ・ SQL Injection - SQL クエリを操作したデータベースへの不正な操作
 - ・ CodeStashBin - パスワードリセット機能の脆弱性
 - ・ Trojan Source - 信頼できないソースからのコンポーネントの使用
 - ・ Apache Path Traversal - 既知の脆弱なコンポーネントの使用

- ・ Psychic Signatures - 既知の脆弱なコンポーネントの使用
- ・ Log4j - 既知の脆弱なコンポーネントの使用

Secure Code Warrior デモサイト : https://www.techmatrix.co.jp/product/scw/demo_site.html

■テクマトリックス株式会社について

テクマトリックス（東証プライム：3762）は、お客様のニーズに沿った最適な IT インフラと IT ライフサイクルをワンストップで提供する「情報基盤事業」、蓄積された業務ノウハウを実装したアプリケーションの提供により顧客の課題解決を実現する「アプリケーション・サービス事業」、**“医療情報をみんなの手に。そして、未来へ。”**をテーマに健康な社会を支える医療情報インフラの構築に取り組む「医療システム事業」の3事業を展開し、顧客企業のビジネスモデル変革と競争力の強化をサポートしています。

詳細は Web サイト : <https://www.techmatrix.co.jp/> をご参照ください。

■Secure Code Warrior Pty Ltd.について

Secure Code Warrior Pty Ltd は、安全なコードを書くスキルを身に着けるための学習環境を提供することで、セキュリティドリブン開発文化の定着を目指しています。当社の主力商品である Secure Code Warrior ラーニングプラットフォームは、開発者がセキュアコーディングを迅速に学び、実開発でのセキュアコーディングの実践を可能にする為の、スキルベースのコースやテスト、資料、動画といった、さまざまなコンテンツを提供しています。Secure Code Warrior Pty Ltd は、2015 年の設立以来、世界中の大手金融サービス、小売、グローバルテクノロジー企業を含む 600 社以上の企業に採用され、安全なソフトウェアのリリースの重要な役割を担っています。

詳細は Web サイト : <https://www.securecodewarrior.com/> をご参照ください。

<本件に関するお問い合わせ先>
テクマトリックス株式会社
ソフトウェアエンジニアリング事業部 Secure Code Warrior 担当
E-mail : scw-info@techmatrix.co.jp
TEL : 03-4405-7853

*本原稿に記載されている社名及び製品名等は、各社の商標または登録商標です。